

補助事業番号 2019M-085
補助事業名 2019年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 広島市

1 補助事業の概要

広島市工業技術センターは広島市域における中小企業の技術力の高度化、研究開発力の強化を通じて新たな事業展開を行うため、中小企業では整備困難な機器を導入して、技術支援を行っている。本事業で工業技術センターの機能強化を図るため「実体顕微鏡システム」及び「塩乾湿複合サイクル試験機」を導入した。

2 予想される事業実施効果

実体顕微鏡システムを導入したことにより、効率的且つ精度の高い試料作製が可能になった。実体顕微鏡での観察では、以前の装置と比較して非常に高い解像度での観察や明視野、暗視野、明暗混合視野での観察が可能になった。これらのことから、顕微鏡検査の効率化により、企業の技術力向上等に寄与できる。

塩乾湿複合サイクル試験機を導入したことにより、既存機器よりも実施可能な試験の幅が広がった。空気飽和器への自動給水システム等により、長時間の連続運転が可能になった。また、溶液のpH変動が抑えられる構造により精確に試験を実施できるようになった。これらのことから、企業の技術力向上等に寄与できる。

3 本事業により導入した設備

① 実体顕微鏡システム

(<https://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/melmaga/no252/20200217-8.html>)

実体顕微鏡システムは、物体の形状観察や金属材料の組織観察に使用する実体顕微鏡と、金属材料の組織観察を行うための試験用試料を作製するための自動研磨機を組み合わせたシステムであり、金属材料の開発等に使用される。

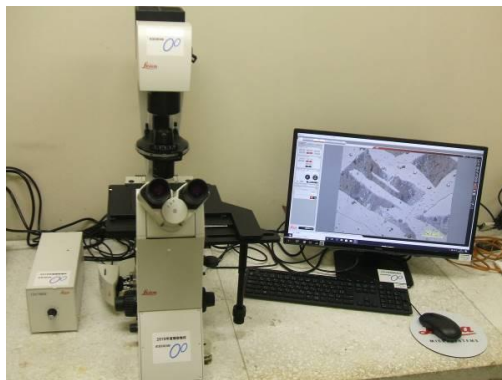


写真 実体顕微鏡システム

設置場所：【広島市工業センター】広島市中区千田町3-8-24

② 塩乾湿複合サイクル試験機

(<https://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/melmaga/no254/20200316-8.html>)

塩乾湿複合サイクル試験機は、塩水噴霧、乾燥、湿潤、外気導入を組み合わせ、繰り返し試験を行うことによって金属製品等の耐食性を迅速に評価する装置である。霧状にした塩水や人工酸性雨液を試験材に噴霧し乾燥、湿潤を繰り返し実施し、一定時間経過後の腐食状況を比較評価する。連続塩水噴霧と比較すると乾燥工程があるため、より実環境に近い腐食試験を行える。金属部品やめっき部品の開発等に使用される。



写真 塩乾湿複合サイクル試験機

設置場所：【広島市工業センター】広島市中区千田町3-8-24

③ 本事業に係る印刷物等

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 広島市産業振興センター（ヒロシマシンギョウシンコウセンター）

住所： 〒730-0052 広島市中区千田町三丁目8番24号

代表者： 理事長 住田 雄二（スミダ ユウジ）

担当部署： 工業技術センター技術振興室（コウギョウギジュツセンター ギジュツシンコウシツ）

担当者名： 専門員 桑原 修（クワバラ オサム）

電話番号： 082-242-4170

F A X： 082-245-7199

E-mail： kougi@itc.city.hiroshima.jp

U R L： <http://www.itc.city.hiroshima.jp/>